



留学生と語り合う

No. 66

RKKニュース

(2017年新年号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

RKK フェスティバル 2016 開催！

11月23日(祝日)、かながわ県民センターにて「RKKフェスティバル2016」が開かれ、会場一杯の100人近くの参加を得た大盛況のイベントでした。

この一大イベントは、「RKKフェスティバル2016」の名称のもと、第12回となった恒例の日本語スピーチ大会と4回目の文化祭を、同日、同一会場で開催したオールRKKの全員参加型イベントです。日本語スピーチ大会には、7人の留学生と元留学生が出場されました。今年は、映像によるプレゼンテーションは一切やめ、スピーチの原点に戻って、「言葉の力」を存分に発揮されたスピーチ大会でした。発表者のチューターも紹介され、お二人が一緒に日本語学習をした努力の成果発表会となりました。

文化祭では会員の作品である写真、絵画が展示され、日本文化の茶道、書道、囲碁、折り紙そして似顔絵などのワークショップを設け、パフォーマンスとして、中国出身者による琵琶、二胡の演奏、ベトナムの紹介、そして特別参加の日本人姉妹による琴、三味線の演奏と地唄舞いのご披露もありました。文化祭は留学生と日本人にとっての異文化理解の場であり、また、趣味・特技を通じて輪を広げ、絆を深めていく絶好の機会となりました。(萩原 記)

(付記) RKKフェスティバル2016写真集、スピーチ大会草稿集はホームページに掲載。

RKK Festival 2016 !

The RKK Festival 2016 was held at Kanagawa Kenmin Center on Nov. 23rd. It was such a very successful event that the hall was full of nearly 100 participants.

This big event combined the 12th annual Japanese speech contest with the 4th cultural festival at the same place on the same day as the RKK Festival 2016, in which everyone can participate. The seven active and former international students entered the Japanese speech contest. By getting back to the basics of speech without using a screen in presentation this year, the students fully demonstrated their power of words. Their tutors were introduced, so it was a place for them to show the results of their efforts studying Japanese together.

In the cultural festival, pictures and paintings of RKK members were displayed, and various workshops of Japanese culture, such as tea ceremony, calligraphy, the game of Go, folding paper, and drawing portraits, were held. Participants also enjoyed several performances, such as Biwa (Japanese lute) and Niko (two stringed Chinese instrument) playing by Chinese student, the slide show of images of Vietnam, and Koto (long Japanese zither with thirteen strings) and Shamisen (long three stringed Japanese guitar) with jiumtai (jiuta dance) by Japanese sisters who participated specially. For the international students and Japanese participants, this was a great opportunity not only to understand other cultures, but to deepen mutual bonds expanding each circle through hobbies and special abilities.

※The photo album of the RKK Festival 2016 and the drafts of the speech contest are posted on the RKK website.
(Translated by Azusa Sugita)



お知らせ

Visit to Ajinomoto and EcoLife Museum

- Date: March 23rd, 2017 (Thur.)
- Meeting: 10:00 am at Suzukicho Station, Keikyu-Daishi Line
- Places: Ajinomoto Kawasaki Plant and Kawasaki Eco Gurashi Mirai-kan

For details, scan this code and find the above event. Please register for participation.



RKKフェスティバル

にほんご speechたいかい 日本語スピーチ大会

日本語スピーチ大会（12回目）では、留学生7人（内、OB1人）が日頃、勉強している日本語でスピーチしました。今年の日本語スピーチ大会では、スライド等の映像を一切使用しないことにしましたが、留学生はスピーチの力で、かつ、起承転結を踏まえ、聴衆の記憶に残る素晴らしいスピーチをしました。この日本語スピーチ大会が日本留学の良き思い出になってほしいと思います。（布津 記）



氏名	テーマ	出身国	所属
王 小双 (オウ ショウソウ)	日本人の思いやりのころ	中国	横浜国立大学
チン ティ タオ	日本につないでくれたベトナムのドンズー日本語学校	ベトナム	横浜国立大学
杜 逸尘 (トウ ユジン)	ぼくの横浜物語	中国	横浜国立大学
安 東妮 (アントウニ)	留学生から社会人になって	中国	横浜国立大学(卒)
ビ ヴィエト テイエン トウ	本役割	ベトナム	翰林日本語学院
胡 啓慧 (コ ケイケイ)	日本の4年間の留学生生活を振り返って	中国	横浜国立大学
高 陽 (コウ ヨウ)	忘れられた明治の俳僧一釈雲照	中国	東京大学

だいい かいぶんかさいかいさい 第4回文化祭開催さる

11月23日、恒例の文化祭がおよそ100人の参加者を得て盛大に開催されました。写真、絵画の展示では従来日本人出品者や張媛媛さんに加え、新たにインド人留学生 Samantha Rhea Walia さん等の多くの絵画が展示され、参加者の目を楽しませてくれました。



ワークショップは、囲碁将棋、茶道、絵画、書道、伝統遊戯、似顔絵とバラエティーに富み、茶道では、もみじ饅頭を味わいながらお茶を楽しみ、書道では自分の名前に当てはまる漢字を探して書き、絵画では、日本の美しい風景を水彩で描き、伝統遊戯では、日本の昔の子供たちの遊びを楽しみました。福笑いでは、奇妙な顔になっしまい大笑い、囲碁将棋は、みんな真剣勝負でした。いつも人気の似顔絵は今年も大勢の人で順番待ちの長一列でした。富志乃清恵さんには琴の指導もしていただきました。

留学生にとっては日本の伝統文化に浸ることができ、貴重な体験を楽しんだことと思います。パフォーマンスは、胡啓慧さんによる琵琶の演奏「春江華月夜」で始まりまし。次いで、劉晋陽さんが二胡で「一枝花」を演奏してくださいました。中国の演奏の次は日本の伝統舞踊です。まず、地唄舞「袖香炉」を富志乃清恵さんの三弦、唄で花崎しのさんに舞っていただきました。続いて、富志乃さんに琴で「六段」を弾いていただきました。中国と日本の素晴らしい演奏に会場はしばらく静まりかえり、続いて大きな拍手が沸き起こりました。ベトナム紹介では、Le Ngoc Bao Viさんが豊富な写真を用いて歴史、風俗等を紹介し、同国への理解を深めることができました。（徳屋 記）



留学生からのたより

shoukatsu sei advise 就活生へのアドバイス



げん ぎょくつ (中国) 横濱国立大学

わたしは2016年3月1日から就職活動をはじめました。志望業界は化工エンジニアリング業界と自動車業界でした。3か月間の就職活動を通し、化工業界から2社内定、自動車業界から3社内定をいただきました。その中の一つの企業に就職すると決めました。

■ 一番努力したこと

エントリーシート (ES) でした。理由としては書類選考に通れると言える自信のあるESがなかなか書けませんでした。読む人の気持ちを考えて分かりやすく書こうと思って書いたのに、説明不足とか何を強調したいか分からないと周りの人から言われました。その時からESは簡単に書けるものではないと意識しました。そして、私は書店でESの参考書を買ひ、猛勉強をはじめました。その本からESの書き方や注意点また質問に対して相応しい内容を選定する方法などを身につけました。例えば、読む人の心を掴むためには、その人があなたの言いたいことを探すのではなく、文章の最初に一行にまとめてわかりやすく見せるのが賢明です。このようなコツを習得することで、私のESが上手になり、周りの人から褒める言葉などもいただきました。

■ どういう準備をしたらよいか

まず就職に対して、本当の「本気」で望むことが大切です。“とりあえず就職してみよう”という中途半端な態度を捨てましょう。本気で望めば、自然にやる気が出てきて、失敗があるとしても挑戦し続けることができるのです。次に自己分析をしっかりとやる必要があります。理由としては自分の適性 (長所・短所など) ・また将来像 (自分にあった仕事・志望動機など) が分かります。日本での就職は学校・専攻より人の性格・資質・将来性を重視して選ぶと思います。そのためには、自分と向き合って自分をちゃんと理解する必要があります。他に準備することがたくさんあるので、以下のキーワードをネットで探してみてください。1) 企業分析、2) 必要なTOEICの点数、3) ウェブテストの種類。

■ 就活生に伝えたいこと

- 1) 本当の主体性・行動力を持った学生が成功する。就活で成功する学生の共通点、それは自分の手・足・頭で情報を得ることにあきないで、とり組めるという点です。就職活動では分からないことがいっぱいあります。その時、すぐ誰かに聞くのではなく、まず自分で考え、ウェブサイトや参考書などから答えを探してみましょう。助けを待つ人は前に進むことができないから、自分で問題を解決する能力を今から鍛えてほしいです。
- 2) 自分のペースを大切に、他人と比較しないこと。周りの人から内定を獲得すると、自分と比較して焦ることがきっとあります。その時、自分の心が動揺したり、自己否定したりします。でも、周りに流されず自分の芯を持って就活をしてほしいと思います。自分のペースやスタイルを信じて、大切にしてください。就職活動は辛いですが、すごく自分の成長に繋がります。諦めず、頑張ってくださいね。(原文のまま)



いちごいちえ 一期一会



白 雨生 (中国) 横浜国立大学
明けましておめでとうございます。私は中国瀋陽出身の留学生です。日本留学のキッカケは大連での大学時代に日本人留学生と日中文化交流を行ったこと。休みの時、日本の友人と会うため日本を二度訪問し、素晴らしい時間を過ごすことができました。特に日本企業の良質なサービスと経営方式は私に深いイメージを与えてくれました。大学卒業後、さらにこれらの分野を深く研究したいと思い、2015年10月に日本へ参りました。

光陰流水の如し。早、日本の2年目を迎えますが、この一年間色々な人と巡り合い、色々な体験をしました。大学研究室の教授と先輩達からは、熱心かつ丁寧に研究指導をして頂きました。研究だけでなく、私生活についても色々な記憶が懐かしく思えてきます。

丁度一年前、先輩からRKKを紹介して頂きました。私の日本語指導担当は八木下先生。大学修士試験の準備に当たり、何度も研究計画の修正を受けました。また先生からは具体的な日本文化を学びました。先生は何故か中国語は上手ですが、私の日本語はまだまだ足りない。もっともっと頑張らなくては!

私は日本の茶道の心得から来た言葉「一期一会」が大好きです。人はこれから何でもあえんとすると、とかく人を大切にす気持ちりが疎かになりがちですが、「この人との出会いは、一生で最後かもしれない、二度と会えないかもしれない。」と言う気持ちをもち、無駄な浪費を避け、相手に対して真剣勝負のアプローチをかけることができます。

家族と友達はいともそばにいる。どんなことが有るにせよ、私は毎日が幸せだと思います。尊敬する先輩達は卒業して行きますが、私は絶対に初心を忘れず、感謝の気持ちを持ち、中国と世界の一番小さな掛け橋になるために頑張りたい。一期一会なので、この世を大事にすべき。

わす おも で つく せんせい 忘れない思い出を作ってくださった先生

崔 ユジン (韓国) フェリス女学院大学

私は日本に来て会話が一番心配でした。それでどうしても誰かと話したかったし、人をたくさん会いたかったから色々なプログラムとかイベントとか会話ができる機会があるところならだいたい一生懸命参加しました。

その時、学校から先生と一対一で不足する部分、もっと勉強したいことを教えてくれるRKKのプログラムがあると聞いて、「これは私にとって必ず必要なことだ」と思って、すぐ申し込みました。その後、今の杉田先生に会いました。先生と前期には日本語能力試験の勉強をして、7月にN2を合格しました。

そして、後期には先生と一緒に友達とは経験できない色々なところに行ったり、日本の料理をたくさん食べました。全部一つずつ記憶に残っていますが、一番記憶に残っている思い出は江戸東京博物館と尚国国技館に行った日です。国技館の前で練習とか試合が終わった選手たちをいっぱい見ました。相撲選手は初めて見たけど、体も大きくて印象もなんか怖い感じだからちょっとびっくりしたけど、先生が過ごしているある選手をお願いして、私と写真を取ってくれました。でも、考えたことより怖くなくて可愛かったです。その後、相撲選手が試合が終わったら食べるちゃんこ鍋を食べたけど、本当に私のスタイルだったし、美味しかったです。次に、親とも食べたくまりました。

こんなにいい経験のおかげで、心配した会話の実力も自然に上手になったし、大切な人、杉田先生も会ってとても成功的な留学生活をしたらしくて張り合いがありますし、忘れない思い出を作ってくださった杉田先生に本当に感謝いたします。(原文のまま)



日本語支援活動

わたし にほんごしえん こうりゅう 私の日本語支援と交流

南地区 植竹 光枝

私は今から12年ほど前に日本語教師の勉強をはじめました。かなり前に外国の人をホームステイで受け入れたことがありました。その時から、何か民間での国際親善や交流ができればと思っていました。そんなことがきっかけとなり、日本語を支援するボランティアグループで活動を続けていました。

四年前、現在の住居に引っ越して来ました。それと同時に新しく日本語支援のボランティアグループを探しはじめていました。そんな時、ぶらっと訪れた「なか区民活動センター祭り」でRKKの活動を知りました。ご縁があったので、さっそく入会しました。

現在、RKKで担当している欧さんは中国からの留学生で、横浜国大大学院の修士課程で勉強しています。欧さんは真面目で勉強熱心な女性です。好奇心も旺盛で花見や七夕、また社会見学にも積極的に参加しています。日本の文化やシステムの異なる日本社会にも興味津々です。会話はかなり上手にできるので、お互いの国の習慣や生活や考え方を話し合うようにしています。写真は昨年、国会議事堂の見学に行ったときのものです。

日本は平和で安全な国と言われていますが、近隣の国々との領土問題や過去の歴史の解釈などでぎくしゃくすることも多くあります。国同士で問題が起きたときにお互いの国に友人や知人がいるとどうでしょう。コミュニケーションという言葉で繋がって、「顔見るケーション」で顔と顔が繋がってれば、相手の立場を思いやったり、譲りあうことができるのではないのでしょうか。

日本語支援というボランティア活動を通して、留学生たちに「生の日本人」、「普通の日本人」の記憶を持ってほしいと思います。日本滞在中の時間を共にすることで、友好の種まきができることを心から願っています。



社会・工場 見学活動

せんたんぎじゅつかん けんがくかんそう TEPIA先端技術館での見学感想

黄 智偉 (台湾) 横浜国立大学

私は台湾出身の黄智偉と申します。今は横浜国立大学の「日本語・日本文化プログラム」で交換留学中です。出身校は台湾の文藻外国語大学で、四年生の英語専攻です。

RKKの見学情報はたまたまキャンパスで見ましたが、ずっと日本の先端技術を見に行きたかった私はためらわずに応募しました。



文系なのに、なぜ理系の先端技術に興味があるのかと私は聞かれました。それは、大学で「台湾製の優れた医療設備を海外へ輸出」というテーマにして、ビジネスコンテストで全国優勝し、そのきっかけで、私は未来の先端技術に興味を持ち始めました。TEPIA 先端技術館に展示された製品の種類は数多く、医療技術・オートメーション・環境保護・IoT住宅などいろいろ揃っていました。しかし、普通の科学博物館と違って TEPIA で未来の先端技術を体感できます。私は特に Manga Generator が大好きでした。体の動きをモーショントラッキングが画面に映ります。

そして、漫画の中に入り込んでしまいました！ その漫画も印刷できますよ。体験できて本当に楽しくて、未来のイノベーション技術をさらに認識して良かったです！ 誰でも気軽に体感できるからおすすめです！

見学が終わったら、みんなは神宮外苑の広場まで移動していました。そこの通りの両側にはイチョウの木が並んでいて、見事な真っ黄色のイチョウ葉だらけでした。まるで黄色の世界に囲まれたようですね。最後にみんなで記念写真を撮り、素晴らしい1日となりました。

今回の見学のおかげで、先端技術を体験できたし、RKKの方々とも話もでき、すごく楽しかったです。しかも、自分の将来の進路に役立っていました。とても充実した1日でした。参加させていただき本当にありがとうございました！ また、今度よろしくお願ひします！（原文のまま）



[RKK社会・工場見学グループ報告]

第61回 TEPIA見学と神宮外苑散策（2016年12月3日）

TEPIA では2グループに分かれアテンダントツアー1時間の後、自由見学を30分行い個別に興味がある展示をじっくり見ることができました。オムロン提供の「顔属性推定技術」では、男女の区別と年齢を一つのディスプレイ上に複数人同時に表示しますが、女性が男性と表示されたり、女性の成人留学生の年齢が7歳と推定されたり、同じ誤りを何度も繰り返す未完成度が逆に人気を呼んでいました。期待していた神宮外苑の「第20回いちょう祭り」が突如中止になってしまいました。いちょうは見ごろを少し過ぎていましたが、真っ黄色に色付いた黄葉を一般の見物客に交じって楽しむことができました。今回はカナダ、モンゴル、韓国、台湾、マカオなどからの留学生の参加が目立ちました。（山口 記）



よこはま夢ファンドのご案内

横浜市には、ボランティア団体の支援を目的とした“よこはま夢ファンド”の制度があることをご存知でしょうか。このファンドを通じてRKKの留学生支援活動を支援していただけます。ご協力をお願い申し上げます。

税制上の優遇措置など詳細は、[よこはま夢ファンド](#)で検索して、当該ホームページをご覧ください。

（企画委員会）



中国語学習活動

私の実践中国語 — 昨年を振り返って—

中国語学習グループ 畔取 孝 くろとり 孝

RKK中国語講座を受講してまもなく2年になります。そこで中国語を学んだことでどんな効果があったかを、自分の経験をもとに振り返ってみます。

昨年7月には、友人と台北3泊4日現地フリーの中国語武者修行の旅に挑戦しました。友人は、中国語ができないため台湾旅行本3冊、高機能の

iPadで中国語OKの完全武装。私も負けじと古い旅行本1冊。しかし、桃園空港とうえんくうこうに降り立つと、台湾元との交換はサインと金額記入のみ。ホテルの

フロントは日本語が完璧。夜市のほとんどが、片言の日本語がOK。北投温泉ぺいとう、猫空のお茶等まおこんも楽しみましたが、意気込みと違って、使った中国語は「ビールはありますか？ようめいようびーしゅう（有没有啤酒？）」「ありがとうしんしやう」くらいでした。

ところが、11月の中国人留学生とのマッチングの時に、私の中国語の実力？を発揮する機会がきたのです。彼女は日本語が話せないため、挨拶、チューターとの面談日程の調整を中国語文のメールでやりとりをしたのです。講座のテキストや娘から譲り受けた中国語辞典を駆使した文章作りは、時間がかかりました。留学生の理解力もあったと思いますが、それでも、マッチングに役立てることができました。また、中国からの留学生との最初の挨拶は、下手でも中国語を使っています。お互いの距離が近くなり、最初から会話が弾んでいます。

改めて、中国語講座を受けてとてもよかったと思っています。段老师だんらおし（先生）はじめメンバーのみなさん。これからも楽しく授業を進めましょう。中国語の効用に興味を持たれた方も、ぜひご参加ください。お待ちしております。



委員会報告

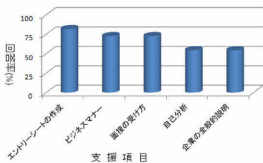
留学生への就活支援に関するアンケート（集計結果）

就活情報支援委員会 岩瀬 暢男

RKK正会員の皆様が留学生から就職に関する相談を受ける機会が増えています。日本語学習支援の場面で多く見られるだけでなく、社会・工場見学、文化・ファミリー交流、フェスティバル等の全てのRKK活動においても、何気ない会話の中から留学生自身就職に関する話題があったりします。

就活情報支援委員会では先ずこのような実態を知るために、昨年10月24日から11月7日の2週間に亘って、全会員（123人、メール発送時）の皆様アンケートをさせて頂きました。その結果、回答数19（回答率16.1%）をいただきましたので、ここにその概略をご報告いたします。

先ず、実際に支援活動をしているか、または、支援活動をした方は11人で、その支援内容のトップ3は右図のように、第1位がエントリーシートの書き方、第2位がビジネスマナー、面接の受け方、第3位が自己



分析、企業の全般的説明でした。実際の場面で支援が難しかった事例として、面接質問への対応の仕方や、集団討議での日本語力アップ（ビジネス用語・カタカナ用語など）、高望みや楽観視への対応の仕方などが挙げられています。このため、RKK内での就活情報交換の場が欲しい、就活支援をした会員の体験を聞きたいなどの要望につながった記述がみられました。実際の就職先ではTVに出てくる大手企業が多く（6件）みられました。今回のアンケート結果から、委員会では5項目の実行案をまとめ検討を進めた結果、就活に関するより詳細な諸情報を、実際に必要とされている方に届けることが重要と判断し、実行に移すこととしました。具体的には、情報を希望される方の登録を受け付けて、順次委員会において適切と思われる情報を選んでメール配信するように致しますので、募集の際にはお申し込みをされて、ご利用いただければと思います。アンケートにご協力頂きました皆様にお礼申し上げます。

地区からのたより

新留学生の対応で嬉しい忙しさ

中央地区 岩科 咲子

中央地区の特色は南地区と並んで、登録留学生の数が他地区よりも圧倒的に多いことです。地区内に横浜国大の留学生宿舎の峰沢国際交流会館があり、最近、羽沢にも2棟ができました。

春と秋の学期初めには、新しく入居した留学生の多数から、RKKへの登録があります。広報委員も兼ねておられる理事長がRKKニュースは発行のたびに留学生宿舎に足を運ばれて配布してくださるので、これを見た留學生が主に日本語の学習を望んで登録し、さらに、口こみで伝わるのでしょう、友人から聞いたと云って、次々に登録が続きます。RKKの評判が良い証拠で大変、嬉しいのですが、中央地区のマッチング担当は多忙になります。地区内でマッチングする場合はもちろん、手が足りなくて他地区にお願いする時も、まず、個々の留學生に面接し、日本語能力や学習内容への具体的な要望、さらに性格まで大体把握して、最も適したチューターにつなげるためです。

双方の相性が良くないと長続きしません。面接は助詞の使い方の誤りなどを正しながら、日本語指導も兼ねて1人1時間以上かかります。いろいろな国の学生と話すことはとても楽しいのですが、面接が連日のように続いたりすると、さすがに疲れます。そこで、昨年から他地区にお願いする場合は、その地区のマッチング担当に最初の留學生面接からお任せすることにしました。その地区内のチューターをよく知っている者が留學生と直接に会っておいた方が順調にマッチングできると思うからです。それでも、他地区のマッチング担当から、まず、中央地区で留學生面接を行ってほしい、その方が人選し易いから、と頼まれることが往々にしてあり、自分の地区の留學生なので、断れません。考えついたのはマッチングスタッフのサポーターを置くことです。多くの会員に活動を分担して貰うというRKKの趣旨にも添うのではないで、と思っています。



会員募集中

RKKの活動に興味をお持ちの方はホームページをご覧ください。
入会申込書はホームページ「入会案内」からダウンロードできます。
ホームページは で検索いただけます。



第7回「とつかお結び広場」に出展しました！

西地区 鈴木 次男

昨年12月4日(日)に「とつかお結び広場」に出展しました。この催しは、戸塚を中心にボランティアや市民活動をしている団体・個人の活動紹介の場として定着しつつあり、今回は145余りの出展があり、4千人弱が来場しました。

RKKは4年連続の出展で、花見会、JAXA 見学会、RKKフェスティバルなど、この1年の活動を記録した写真パネル、PCスライドショーを用意し、主に視覚に訴える展示としました。

当日は西地区のスタッフ7人が対応しました。特に日本語支援に興味を持たれた方には、未経験者でも安心して活動できる体制(マッチングシステム)を敷いていることを強調しました。ブース来訪者は20数人と昨年の2割程度でしたが、割り当てられたブースが来訪者の目に付き難い所だったことが原因と推測されます。

地元に限らず他団体として主催しに継続出展することは意義があると致します。そして、RKKブース来訪者の中から1人でも入会される方がいれば大変嬉しいと思います。



しょうなん ちくこうりゅうがかい りゅうがくせい とも しょうほうしょ けんがく 湘南地区交流会—留学生と共に消防署を見学

このたび、湘南地区では留学生と一緒に川崎市臨港消防署の活動を見学し、勉強すると共に交流を深めました。この見学は湘南地区会員で、この消防署の署員でもある檜原さんのご案内で行ったものです。

具体的には、消防服の着用体験、AEDの操作体験、危険物による被害の救助訓練の見学、各種消防車の見学と乗車体験、そして、外国人の救助や案内等のための消防署員との英語等の外国語でのコミュニケーションへの留学生の参加・体験(近年、増加する外国人への消防署の対応力を増すための消防署員の訓練でもあり、一方、外国人として留学生の防災・被害防止のための体験でもありました。) この消防署の見学は留学生からは非常に関心が深く、印象にも残り、再度の見学希望の感想も寄せられました。見学会では、その多くは説明と合わせて物や状況を見ることであります。この見学では、物を見るだけでなく、体験することが多くありました。その体験が留学生の印象を深めたものと思われまふ。湘南地区でも、常々は地域の公共機関の会場で話し合いを中心とした交流会ですが、時にはこのように外に出て、留学生共々見学や名所旧跡などを散策すると、交流の幅の広がりが新しい視点が見出せるように思われました。(深水 記)



RKKホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しており、「会員のひろば」も開設いたしました。「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画などの文化交流情報にも利用できます。掲載希望の会員はメッセージをRKK広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先アドレス：sugita1526@ybb.ne.jp

掲載ホームページ：<http://rkk.world.coocan.jp/> または、**NPO RKK**で検索。

ホームページへのアクセスには、右のコードをスキャンしてください。

広報委員会では皆様からの広場への寄稿をお待ちしております。

広報委員会



トピックス



よこはまこくりつだいがくりゅうがくせいいかん 横浜国立大学留学生会館 winter party さんか ウィンターパーティーに参加して

横浜国立大学留学生のためのウィンターパーティーが弘明寺の留学生会館で、12月9日に開催されました。私共RKKも招待され、深水理事長、古谷さんと私の3人が参加しました。当日は留学生に私共はじめ多くの来客が紹介されました。10月から新学期に新旧の留学生の入れ替わりもあり、交換留学生、研究生も含めて多くの新人の留学生が参加していました。登録会員の中国の留学生やインドネシアの留学生等々とも親しく交流ができました。また、新しくモンゴルの留学生の加入申し込み等もあり、有意義なひと時を過ごすことができました。(布津 記)



よこはまこくだい 横浜国大IMP Winter Partyに参加 さんか



IMP(Infrastructure Management Program) 留学生を対象として関係教職員、日本人横国大学生、ボランティア団体等およそ30人が参加して、Winter Party が横国大工学棟にて開催されました。IMP 留学生の多くは敬虔なモスリムで、ハラル料理アルコールなしの会なので、持ち寄り料理の選択に頭を悩ましたが、会場にはたくさんハラル料理が用意されており、珍しいエスニック料理を楽しみながら新旧のIMP留学生と楽しい時間を過ごすことができました。

RKKからは羽磯、萩原、津田、徳屋が参加しました。(徳屋 記)

よこはま ちゅうごくりゅうがくせいがかうりゅうかい 横浜地区中国留学生学友会交流会に参加しました さんか

掲題の交流会が2016年11月17日に神奈川韓国会館(神奈川区鶴屋町)で開催され、深水理事長と共に参加してきました。新入留学生(新入生)が先輩学友会員、関係諸団体参加者との交流によって不安を解消するのに役立つ有意義な機会です。胡啓慧学友会会長の挨拶のあと、会員留学生と15人程の外部招待者を交えた総勢70人を超える参加者による話し合いを中心に、二胡演奏、連想クイズ等もあり、楽しい2時間が過ぎました。今回はRKKニュースの他、留学生の現地手料理による温かい中国料理が並んだ各テーブルにフェスティバル、スピーチ大会、文化祭のパフレットを三角看板にして置かせて頂きましたので、留学生との会話のきっかけに大変、役立ちました。

(岩瀬 記)



おもな活動(2016/11から2017/1まで)

理事会

- ◇12/23 サポートセンターR302にて、第2回定例理事会が開かれ、活動グループ、委員会の担当理事からの報告と協議がされた。

スタッフミーティング

- ◇12/23 午後、サポートセンターR302にて24人のスタッフの参加のもと、2016年度第3回スタッフミーティングが行われ、活動グループ、地区交流会、委員会それぞれからのC&C(報告・連絡そして相談)を実施した。またディスカッションタイムは、11月23日に開催した「RKKフェスティバル2016」を振り返って、意見交換をした。

活動グループ

- ◇日本語支援G:日本語の教え方講習会は、39人の受講で、無事終了。11/23のRKKフェスティバルでのスピーチ大会には、留学生7人が発表。RKKフェスティバルには100人近くが参加。
- ◇文化・ファミリー交流G:11/23のRKKフェスティバルでの文化祭を主催し、好評を得る。
- ◇中国語学習G:11月から2月のコースは14人が参加。受講者増員のPRを推進。
- ◇社会・工場見学G:12/3 先端技術館見学、明治神宮外苑散策には28人参加。

地区交流会

- ◇東地区:11/13に留学生も含め11人での地区交流会を実施。
- ◇西地区:10/30に18人の参加で交流会を実施。12月4日のお結び広場に出展し、PR活動を推進。
- ◇南地区:12/9に横国大弘明寺学生会館のウィンターパーティに参加。
- ◇北地区:12/10に留学生3人も含め18人で中華料理店で昼食会を兼ねた交流会を実施。
- ◇中央地区:10/30に留学生1人を含め10人で交流会と昼食会を実施。
- ◇湘南地区:12/6に忘年会を兼ねた交流会を実施。12人が参加。

委員会

- ◇会員委員会:12/23 マッチング検討会を実施。新入会員の受入れ、マッチング業務の推進。
- ◇広報委員会:RKKニュース66号の編集。ホームページは適時更新。
- ◇就活情報支援委員会:12/9に第4回委員会を実施。就活支援に関するアンケート調査実施。
- ◇企画委員会:夢ファンド協力推進。
- ◇会計委員会:月次精算・決算作業。
- ◇事務局:理事会・スタッフミーティング開催準備、会員委員会サポート活動。



賛助会員のみなさまへ: ご支援ありがとうございます。

佐々木 紀長 (敬称略)

新入正会員のみなさまへ: よろしくお願ひします!

阿部 晃子(鎌倉市)、池永 晴美(鎌倉市)、柴田 賢治(旭区)、
今 広道(川崎市)、北川 孝彦(藤沢市) (敬称略)

文化・ファミリー交流活動

日中大学生囲碁交流大会にRKKが参加

昨年12月初旬、北京大学、北京師範大学、上海交通大学、上海経済大学等、中国の12大学の学生とプロ6人の囲碁ミッショントム30人が来日、12月12日神奈川県平塚キャンパスを訪問、囲碁交流大会が行なわれ、RKKから山口晴夫さん、松岡 哲さん、大田が参加しました。このイベントは外務省の対外友好増進の一環として行なわれたもので、将来、継続増進が期待されます。

いま日本の大学では囲碁の科学的な思考方法が買われ、2005年に東大が囲碁を正規の学科に採り入れたのを皮切りに、いまでは神奈川大を含め29大学が囲碁を正式科目として扱っています。

なお、RKKでは毎月、最終土曜日13:00~17:00、県民センター2階で囲碁交流会を行なっています。お問合せは山口さん(文化・ファミリー交流グループスタッフ kesajiro0822@yahoo.co.jp)まで。(大田 記)



留学生の皆さんへ / For International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話 (Daily Conversation)
- ・ ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Theses & Reports)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・ 就職活動 (Job Hunting ・ Entry sheets/Interviews)

Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact: 津田(Tsuda) e-mail: sakura_tsudakei@ybb.ne.jp

Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Scan this code for getting application form



NPO法人 留学生と語り合う会

連絡先: 〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦
e-メール: rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax: 045-813-8327
ホームページ: <http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKKニュース編集: RKK広報委員会 (新年号担当) 深水智明 Jan.31.2017

